



ねぎしなるみ 根岸成美議員が町に問う！

和紙の振興

和紙印刷に対する支援等は

【答弁】 課題の把握と解決策を協議します

Q 当町はもとより、県内の公立高校の多くで、小川和紙を使った「卒業証書」が採用されている。また、卒業証書に用いる和紙は、一枚一枚「溜漉き」による方法で作製し、印刷が施されているが、和紙に印刷する技術の継承や、人材の確保・養成など、課題もあると捉えている。対策・支援等は。

A にぎわい創出課長 手漉き和紙の技術は、後継者育成事業において、卒業証書の溜め漉き研修も行い、作製の即戦力となるよう努めています。また、印刷技術についてですが、現時点では具体的な協議等は行っていないです。今後は、印刷業との連携も必要と感じていますので、課題の把握及びその解決策について関係者と協議していきます。



当町が誇る自慢の和紙の再認識を

Q 和紙の拠点づくりとして、埼玉伝統工芸会館や和紙体験学習センターを含め、槻川や仙元山など、周辺にある自然環境を活用した観光ゾーンの将来像・構想は。

A にぎわい創出課長 伝統産業や文化的資源・自然資源が集積するエリアと位置づけ、「賑わいと交流の拠点」として、駅周辺拠点との連携強化を目指しています。



ほんだしげのぶ 本多重信議員が町に問う！

太陽光発電

降雨等による被害の回避は

【答弁】 適切な計画になるよう求めます

Q 中爪地内に計画中の太陽光発電施設の下水には、100戸を超える集落と広大な農地がある。これらの上流が開発・更地化されると、降雨等による甚大な被害の発生が懸念されるが。

A 環境農林課長 開発行為による森林機能の保全に関し、水害を発生させる恐れがないことや、洪水を調整する施設が設置されているかなど、許可権者である県が厳密な審査を行います。町も関係法令に基づき、適切な事業計画になるよう、事業者に求めていきます。



太陽光発電の開発で不安なため池

Q 新型コロナ対策として、気軽に無料で受けられるPCR検査を。A 健康福祉課長 令和3年12月に、県がPCR検査等無料事業を開始しました。詳細は、特設のホームページで公開しています。



たなかてるこ 田中照子議員が町に問う！

主権者教育

学校の主権者教育の取組は

【答弁】 仲間と議論し課題解決を図ります

Q 各教科、領域での主権者教育のあり方をどう捉えているか。A 学校教育課長 児童生徒が知識を習得し、主体的に地域等の課題を考え、自分の意見を持ち、仲間と議論する中で、課題解決を図ることが大切と捉えています。

Q 今年度開催予定の「こども議会」について、新たな試みは。A 学校教育課長 GIGASクール環境が整備される中、ICTを活用した展開も可能であると考えています。

可燃ごみ処理の民間委託



ごみ集積場所の管理は地域と連携で

Q 住民へ新たな可燃ごみ分別の周知が図れたと考えているのか。A 環境農林課長 今後も行政区域や環境美化推進委員への説明、出前講座・動画配信・SNS等を活用し、周知を図ります。

Q 異物により委託先の施設に破損が生じた場合の責任は。A 環境農林課長 異物の混入は施設の故障やメタン発酵を阻害する原因となるため、未然に取り除く必要があります。故障の原因が管内のごみであった場合は、小川地区衛生組合が責任を負う可能性があるものと考えています。



しまざきたかお 島崎隆夫議員が町に問う！

デジタル化

行政のデジタル化の進捗は

【答弁】 6つの重点事項に対応していきます

Q 「行政のデジタル化」について、進捗は。A 総務課長 国の自治体DX推進手順書では、デジタル社会の構築に向けた6つの重点事項として、「情報システムの標準化・共通化」「マイナンバーカードの普及促進」「行政手続きのオンライン化」「AI・RPAの利用促進」「テレワークの推進」「セキュリティ対策の徹底」に取り組みこととされました。いずれも順次、対応していきます。

Q マイナンバーカードの普及は、行政のデジタル化を推進する上で、必須の取組と考えるが、見解は。A 町民課長 本人確認の公的な書類としての利用はもとより、デジタル社会における様々な行政サービスの提供に必要なツールと



マイナンバーカードへの一元化が進めば...

新町長さん、季節ごとに見られる景色を守ってください。(S・Iさん 12歳)

町長、学校跡地に早く高齢者施設を作ってください。(S・Sさん 73歳)

町の住民は勿論、移住者にも住みやすい町づくりを期待します。(S・Rさん 34代)

候補者の話しをちゃんと聞いて判断したい。(S・Hさん 40代)

小川町議会だよりは写真にコダワル！ 写真は編集委員が「撮る」「選ぶ」。キャプション(写真説明)も工夫します。